

平成 30 年 8 月 29 日

2 学期 始業式

おはようございます。

猛暑の夏が終わりました。約 700 名の生徒の皆さんが大きな事故なく本日 2 学期始業式を迎えることができたことは大変喜ばしい事です。本当に良かったです。

私の夏を一つ紹介しますと、近隣中学校 30 校へ挨拶に上がりました。「こんなにすばらしい生徒が在籍しています」また、「生徒思いの先生方ばかりです」「子ども達を是非りんくう翔南にこさせてください」と話してきました。目標が達成できるかどうかは直ぐには答えは出ませんが、中学校の先生とは有意義な時間を過ごすことができました。

みなさんはこの夏休み、挨拶・思いやり・様々な学びを柱に志を立て果敢に挑戦し、有意義に過ごすことができましたか？
自己評価してください。

みなさんはどうでしたか「有意義に過ごせた人」はそれを今日からの学校生活の糧にするとともに、更に高い志を立ててください。

一方で

「何もできなかった……」「気ままな生活で終わってしまった……」
仕方ないので、しっかり振り返って今日から改めてください。振り返り改める事、これが成長です。

それでは、本日、新しい学期の始まりにあたり 2 点お話しします。

最初は部活動についてです。

やはりりんくう翔南「飛躍の時」です。陸上競技部（2 年生：黒川一步：カホ）さんが 2 年生女子槍投げにおいて府立高校 NO1 の 3 位に入賞し近畿大会への出場権を獲得しました。大健闘です。

競技力を向上させ上位に入賞するには指導者には（教育的愛情・技術指導力・練習環境の整備・情報収集力・等）高いスキルが求められます。

特に投擲種目は力より技術が先行します。

同時に競技者にはその指導を真摯に受けとめる純粹無垢な心と、指摘された点をパフォーマンスできる身体能力などが求められます。

陸上競技部は積極的に合同練習会を実施し外部からの刺激を力にかえるなど生徒、顧問の先生方が一体となり様々な条件をクリアしたのだと思います。学校代表として9月15日奈良県鴻池陸上競技場での活躍を大いに期待します。

この夏、多くの文化部・運動部のみなさんの活動を拝見させていただきました。一人でコツコツと取り組む様子も拝見しました。流した汗は無駄になりません。私も青春時代、みなさんに負けないくらい汗を流しました。それが私の 今 生きる力の要因の一つとなっています。

誤解のないように、クラブ活動している生徒だけが果敢に挑戦しているわけではないことは理解しています。ただ、黒川さんが建闘したタイミングであるということ又、限られた時間であるので本日は部活動を取りあげました。

二つ目は各学年へのメッセージです。端的に伝えます。

まず、3年生のみなさん、進路実現にむけ本番です。これは、個人戦のように見えて実はチーム戦、団体戦です。特に、学年のムードが個人の結果に大きく影響します。3年生が生活する1号棟が緊張感とやる気で満ち溢れんことを期待します。

2年生のみなさんはりんくう翔南の主演となります。主演であるからこそ「挨拶・思いやり・様々な学び」の意味を改めて考え実践してください。

1年生は夏を超えようやく高校生（りんくう翔南生）らしくなってきました。これからは、思いやりのある、本物のりんくう翔南生を目指してください。

終わりになりますが、今日からの一日一日を個々が充実したものにし、実りの秋をチーム翔南でつくることを願い式辞とします。